



# 広がるAIによる税務調査選定

## 個人情報目的外使用可能な監視社会に

「税務調査の対象はAIが決めるので私にはわかりません」。昨年組合員宅に税務調査に来た税務署員の発言です。

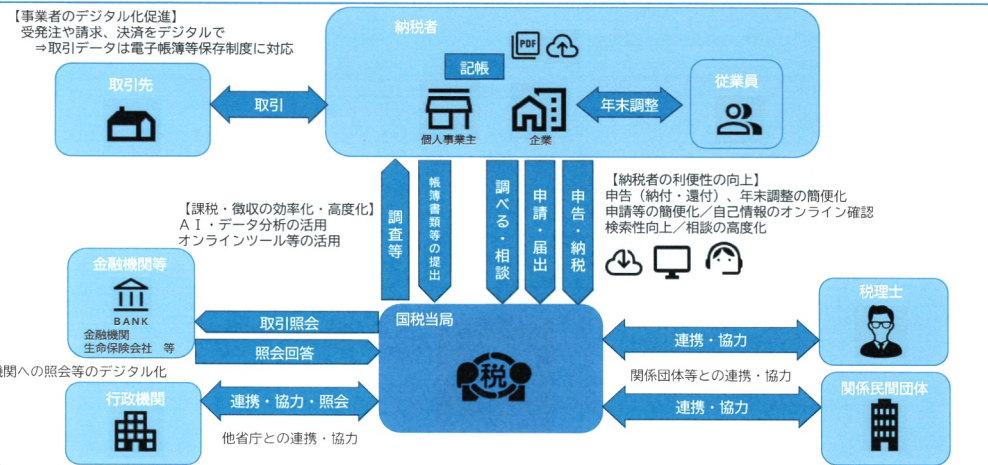
近年国税庁では税務調査の「効率化」を目的にAI(人工知能)の活用が進んでいます。所得税は「S.A.T」法人税は「結」相続税は「R.I.N」という名称をつけた3つのAIが調査選定を行っていると言われています。

ところが、調査を受けた組合員は収入も経費も正しく計算し申告していましたが、調査の結果「是認」され追徴税は発生しませんでした。AIが一体どのようなデータを根拠に調査対象と判断しているのか納税者にはまったくわかりません。

個人情報などのように使われているのか。国民には知る権利があります。監視社会は競争国家につながります。

### 税務行政に関わる各プレイヤーの役割 (イメージ)

- ◆ 税務行政は、実に多様な関係者が関わることで成り立っています。
- ◆ これらの関係を踏まえた上で、一部分だけでなく、全体を俯瞰し全体最適を実現する観点からDXを推進することが重要です。



→ 国税庁「税務行政の将来像2023」

◎関東ダンブ協議会のホームページで「白ナンバー問題」の特設サイトがアップされています。「関東ダンブ」で検索してください。



6月20日総代会での宣伝行動(小山市)

### よつ葉生協解雇事件 裁判勝利し謝罪求める

よつ葉生協(小山市)で働く職員2名に対する解雇事件。東京高裁でも解雇無効の判断が下され職場に復帰することができました。ところがよつ葉生協は謝罪を拒否するなど不誠実な態度を続けています。6月20日生協の総代会で抗議宣伝行動実施、建交労から3名が支援参加しました。



6月23日団体交渉を開催し評価制度の改善などを協議、団交後の懇親会では組合の歴史を学習しさらなる前進を誓い合いました。

### 解雇撤回から18年 エアケミ運輸(さくら市)は産業ガス輸送を専門とする運輸会社

を重ねて労使正常化を実現し、いま職場では若い組合員も増やして活動しています。

6月23日団体交渉を開催し評価制度の改善などを協議、団交後の懇親会では組合の歴史を学習しさらなる前進を誓い合いました。



壬生町のどかな田園地帯に総工費500億円で作られた巨大なファナック栃木工場。組合員も造成工事に関わりました。鹿沼免許センター入口。

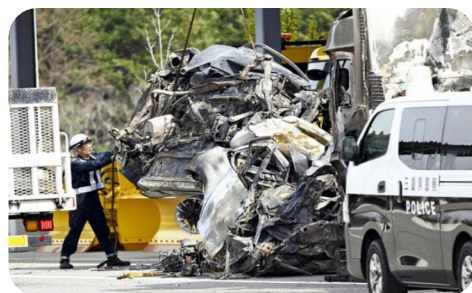
### 栃木からイスラエルに?

栃木県壬生町工業団地に2016年、産業用ロボットで世界2位のシェアを誇るファナック社が工場を建設しました。雇用、納税等地元に大きな貢献をしています。

その一方で同社は、イスラエルや欧米の軍需企業にロボットを輸出し、パレスチナ・ガザで使用された無差別殺人兵器(155mm砲弾など)の製造工場でも使われていることが

### 新名神6人死亡事故 スマホわき見教訓に

今年3月、新名神三重県内で発生した大型トラックによる追突事故。6人が死亡する大惨事の原因は、運転中スマホ画面(ショート動画)を13秒見ていたことだったことが裁判で明らかになりました。けっして他人事ではありません。い多くのドライバーが運転中スマホに気を取られています。悲惨な事故を教訓にすべきです。



追突された乗用車は原型がわからないほど大破していました。

### 【当面の主な予定】

- ◎ 7月2日(木) 栃木最低賃金審議会
- ◎ 7月3日(金) 栃木県、栃木県警本部へ要請行動
- ◎ 7月9日(木) 栃木運輸支局へ要請行動
- ◎ 7月10日(金) NOWAR県民集会
- ◎ 7月20日(祝・月) 県労連夏季学習会
- 「足尾銅山現地学習」

↑ 参加希望者は組合事務所まで。